

2023年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	環境情報学特別研究 (Environmental Information Engineering Studies)		
ナンバリングコード	R40403	大分類 / 難易度 科目分野	環境情報学専攻 / 総合レベル
単位数	10	配当学年 / 開講期	1年 / 通年
必修・選択区分	必修 ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	M522301	クラス名	菅研究室
担当教員名	菅 雅幸		
履修上の注意、履修条件	特にありません。 指導を受けるときだけでなく、普段から取り組み重要です。しっかりと取り組んでください。		
教科書	特になし		
参考文献及び指定図書	修士論文に関わる文献等		
関連科目	環境情報学特別演習Ⅰ、環境情報学特別演習Ⅱ		

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確)	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	主体的に研究を遂行する。			20点
【知識・理解】	研究発表用の論文作成。		40点	
【技能・表現・コミュニケーション】	学会で研究発表を行い、質疑応答に適切に対応することができる。		20点	
【思考・判断・創造】	実現が困難なことに対して粘り強く対応できる。 研究活動全般に対して、異なる視点から判断、微調整することができる。		20点	

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)	
提出する修士論文が適格であると判断できる内容の場合、合格とする。ただし、評価判定については、総合的な判断に基づく。 課題のフィードバックは、次回以降の授業中に行います。	

○基本情報	
授業の目的	修士論文を作成するにあたり、「大都市沿岸域における地域構造の変化に関する研究」テキストを基に、地域分析の意義、手法を学修します。これにより、どのような資料収集、分析ソフトを使って、データ解析を行っていくかの指導を行います。 修士2年次の9月に発表予定の、日本建築学会大会研究発表会の発表へ向けて、論文を作成し、3月にその概要投稿を目標とします。翌年の3月に発表予定の日本建築学会九州支部研究発表会の発表へ向けて、論文を作成し、12月にその概要投稿を目標とします。
授業の概要	「大都市沿岸域における地域構造の変化に関する研究」の作成方法を学修することによって、研究の方向性を検討して行きます。
授業の運営方法	(1) 授業の形式 「演習形式」 (2) 複数担当の場合の方式 「該当しない」 (3) アクティブ・ラーニング 「プレゼンテーション」
地域志向科目	カテゴリーⅢ: 地域における課題解決に必要な知識を修得する科目
実務経験のある教員による授業科目	菅 雅幸 本授業の設計に関する実務経験として設計事務所設計業務に従事。

○その他

2023年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科目名 担当教員	環境情報学特別研究 (Environmental Information Engineering 授業コード)	M522301
学修内容			
1. 修士論文作成 修士論文作成に必要な研究・文献調査を行い、成果発表を行う。			
予習	修士論文とはどのような事をして、作成していくのかを調べて予習しておく		約2時間
復習	指導を基にして、既往研究と調査をすすめておく		約2時間
2. 修士論文作成 修士論文作成に必要な研究・文献調査を行い、成果発表を行う。			
予習	既往研究、調査内容の発表準備を行う。		約2時間
復習	指導を基にして、研究と調査をすすめておく		約2時間
3. 修士論文作成 修士論文作成に必要な研究・文献調査を行い、成果発表を行う。			
予習	既往研究、調査内容の発表準備を行う。		約2時間
復習	指導を基にして、研究と調査をすすめておく		約2時間
4. 修士論文作成 修士論文作成に必要な研究・文献調査を行い、成果発表を行う。			
予習	既往研究、調査内容の発表準備を行う。		約2時間
復習	指導を基にして、研究と調査をすすめておく		約2時間
5. 修士論文作成 修士論文作成に必要な研究・文献調査を行い、成果発表を行う。			
予習	既往研究、調査内容の発表準備を行う。		約2時間
復習	指導を基にして、研究と調査をすすめておく		約2時間
6. 修士論文作成 修士論文作成に必要な研究・文献調査を行い、成果発表を行う。			
予習	既往研究、調査内容の発表準備を行う。		約2時間
復習	指導を基にして、研究と調査をすすめておく		約2時間
7. 修士論文作成 修士論文作成に必要な研究・文献調査を行い、成果発表を行う。			
予習	既往研究、調査内容の発表準備を行う。		約2時間
復習	指導を基にして、研究と調査をすすめておく		約2時間
8. 修士論文作成 修士論文作成に必要な研究・文献調査を行い、成果発表を行う。			
予習	既往研究、調査内容の発表準備を行う。		約2時間
復習	指導を基にして、研究と調査をすすめておく		約2時間

○授業計画	科目名 担当教員	環境情報学特別研究 (Environmental Information Engineering 授業コード)	M522301
学修内容			
9. 修士論文作成 修士論文作成に必要な研究・文献調査を行い、成果発表を行う。			
予習	既往研究、調査内容の発表準備を行う。		約2時間
復習	指導を基にして、研究と調査をすすめておく		約2時間
10. 修士論文作成 修士論文作成に必要な研究・文献調査を行い、成果発表を行う。			
予習	既往研究、調査内容の発表準備を行う。		約2時間
復習	指導を基にして、研究と調査をすすめておく		約2時間
11. 修士論文作成 修士論文作成に必要な研究・文献調査を行い、成果発表を行う。			
予習	既往研究、調査内容の発表準備を行う。		約2時間
復習	指導を基にして、研究と調査をすすめておく		約2時間
12. 修士論文作成 修士論文作成に必要な研究・文献調査を行い、成果発表を行う。			
予習	既往研究、調査内容の発表準備を行う。		約2時間
復習	指導を基にして、研究と調査をすすめておく		約2時間
13. 修士論文作成 修士論文作成に必要な研究・文献調査を行い、成果発表を行う。			
予習	既往研究、調査内容の発表準備を行う。		約2時間
復習	指導を基にして、研究と調査をすすめておく		約2時間
14. 修士論文作成 修士論文作成に必要な研究・文献調査を行い、成果発表を行う。			
予習	既往研究、調査内容の発表準備を行う。		約2時間
復習	指導を基にして、研究と調査をすすめておく		約2時間
15. 修士論文作成 修士論文作成に必要な研究・文献調査を行い、成果発表を行う。			
予習	既往研究、調査内容の発表準備を行う。		約2時間
復習	指導を基にして、研究と調査をすすめておく		約2時間
16.			
予習			
復習			